



2027年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2026年8月7日

上場会社名 内外テック株式会社 上場取引所 東
コード番号 3374 URL <https://www.naigaitec.co.jp>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 岩井田 克郎
問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役 (氏名) 佐々木 政彦 TEL 03-5433-1123
配当支払開始予定日 —
決算補足説明資料作成の有無：有 (当社ウェブサイトにて掲載)
決算説明会開催の有無：有 (当社ウェブサイトにて決算説明動画を配信予定)

(百万円未満切捨て)

1. 2027年3月期第1四半期の連結業績（2026年4月1日～2026年6月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2027年3月期第1四半期	11,536	59.9	590	612.5	597	612.9	363	673.4
2026年3月期第1四半期	7,212	△11.1	82	△60.6	83	△58.8	46	△46.8

(注) 包括利益 2027年3月期第1四半期 772百万円 (624.1%) 2026年3月期第1四半期 106百万円 (226.2%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2027年3月期第1四半期	103.80	—
2026年3月期第1四半期	13.42	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2027年3月期第1四半期	28,312	13,165	46.5
2026年3月期	25,081	12,761	50.9

(参考) 自己資本 2027年3月期第1四半期 13,165百万円 2026年3月期 12,761百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2026年3月期	—	0.00	—	105.00	105.00
2027年3月期	—				
2027年3月期（予想）		0.00	—	144.00	144.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：有

3. 2027年3月期の連結業績予想（2026年4月1日～2027年3月31日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期（累計）	24,500	60.8	1,185	143.1	1,178	146.1	747	140.6	213.41
通期	50,900	56.1	2,560	82.5	2,540	82.8	1,680	72.9	479.71

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

(注) 詳細は、添付資料 7 ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- | | |
|----------------------|-----|
| ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 無 |
| ② ①以外の会計方針の変更 | : 無 |
| ③ 会計上の見積りの変更 | : 無 |
| ④ 修正再表示 | : 無 |

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2027年3月期1Q	3,553,098株	2026年3月期	3,553,098株
② 期末自己株式数	2027年3月期1Q	54,527株	2026年3月期	54,482株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2027年3月期1Q	3,498,589株	2026年3月期1Q	3,498,662株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー：無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。

また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料 2 ページ「1. 経営成績等の概況(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当四半期の経営成績の概況	2
(2) 当四半期の財政状態の概況	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	5
四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記)	7
(セグメント情報等の注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	8
3. 補足情報	8

1. 経営成績等の概況

(1) 当四半期の経営成績の概況

当第1四半期連結累計期間における日本経済は、物価上昇に伴う個人消費への下押し圧力に加え、中東・ウクライナ情勢を背景とした地政学リスクのほか、資源・エネルギー価格の上昇懸念等から、先行き不透明な状況が継続したものの、雇用・所得環境の改善や、労働人口減少への対応を目的とした省力化投資を中心とした企業の設備投資が堅調に推移する等、全体として穏やかな回復基調が継続しました。

当社グループが参画しております半導体・半導体製造装置市場におきましては、原材料価格や人件費の上昇等のコスト面に留意する必要があるものの、生成AIの著しい需要拡大を背景に、データセンター向け高帯域幅メモリ(HBM)関連投資をはじめ、先端ロジックやメモリ向け投資が堅調に推移しました。また、国内においては経済安全保障の観点から半導体の国産化を推進する政策的支援が継続しており、国内半導体製造拠点の新增設に向けた取り組みが着実に進展しつつあるなど、中長期的にも引き続き堅調な成長が見込まれております。

このような環境のなか、当社グループは、足元の受注増に対応すべく、5月に仙台第二工場を新設し生産エリアの拡大(2倍)を図るほか、宮城物流センターの移転による増床(1.5倍)を行うとともに、中期経営計画において掲げる「メンテナンスサポート(FS事業)の強化」の実現を加速するための施策として、半導体製造工程に係る設備・機器類の保守メンテナンスを手掛ける株式会社OMTの株式取得に向けた準備を進めてまいりました。また、新戦略となるAI×ロボティクスの「フィジカルAI戦略」、調達のハブ化を進める「AIエージェント戦略」等の推進のため、スタートアップ企業等との連携により、計画を進めてまいりました。株式会社OMTの株式取得(2026年8月1日付で株式譲渡)により、対応装置機種数の拡充、技術者の増強、対応エリアの拡大等、FS事業の拡充・発展のほか、業務の効率化による営業利益率の向上が図られるものと見込んでおります。

この結果、当第1四半期連結累計期間における当社グループの業績につきましては、旺盛な半導体製造装置需要を背景とした受注増加により、売上高は115億36百万円(前年同期比59.9%増)となりました。利益面につきましては、売上高が増加したことにより、営業利益5億90百万円(前年同期比612.5%増)、経常利益5億97百万円(前年同期比612.9%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益3億63百万円(前年同期比673.4%増)となりました。

セグメント別の経営成績は、次のとおりであります。

(販売事業)

半導体・FPD製造装置などの各種コンポーネンツ(部品)及び同装置等の販売事業におきましては、市場の回復を背景に取引先の在庫調整が一巡し、受注が拡大したことから売上高102億99百万円(前年同期比65.1%増)、セグメント利益3億68百万円(前年同期セグメント損失26百万円)となりました。

(受託製造事業)

半導体・FPD製造装置などの組立及び保守メンテナンス等の受託製造事業におきましては、前期から引き続き堅調な受注環境が続いたことから売上高19億67百万円(前年同期比33.7%増)、セグメント利益1億79百万円(前年同期比167.7%増)となりました。

(2) 当四半期の財政状態の概況

当社グループの当第1四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ32億31百万円増加し、283億12百万円となりました。この主な要因は、現金及び預金が16億62百万円、受取手形及び売掛金が5億56百万円、商品及び製品が7億76百万円、投資有価証券が5億95百万円増加し、電子記録債権が2億50百万円、その他の流動資産が1億76百万円減少したことによるものであります。

負債は、前連結会計年度末に比べ28億26百万円増加し、151億46百万円となりました。この主な要因は、支払手形及び買掛金が8億97百万円、電子記録債務が19億55百万円、その他の流動負債が1億21百万円、その他の固定負債が1億33百万円増加し、賞与引当金が1億38百万円、長期借入金が1億99百万円減少したことによるものであります。

純資産は、前連結会計年度末に比べ4億4百万円増加し、131億65百万円となりました。この主な要因は、利益剰余金が親会社株主に帰属する四半期純利益により3億63百万円、その他有価証券評価差額金が4億7百万円増加し、配当金の支払いにより3億67百万円減少したことによるものであります。

この結果、自己資本比率は前連結会計年度末の50.9%から46.5%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

第2四半期連結累計期間及び通期の業績予想を変更しております。詳細につきましては、本日(2026年8月7日)公表の「業績予想の修正および配当予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2026年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2026年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	9,059,518	10,721,860
受取手形及び売掛金	5,355,085	5,911,407
電子記録債権	894,147	643,554
商品及び製品	1,406,807	2,183,444
仕掛品	86,129	113,937
原材料及び貯蔵品	70,601	130,566
その他	338,279	161,416
流動資産合計	17,210,569	19,866,187
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	4,513,809	4,470,857
土地	1,233,377	1,233,377
その他（純額）	203,076	282,915
有形固定資産合計	5,950,263	5,987,150
無形固定資産	31,891	29,374
投資その他の資産		
投資有価証券	943,295	1,538,383
差入保証金	696,111	696,051
その他	249,186	195,615
投資その他の資産合計	1,888,593	2,430,050
固定資産合計	7,870,748	8,446,576
資産合計	25,081,317	28,312,763
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,628,990	4,526,397
電子記録債務	3,221,669	5,176,977
1年内返済予定の長期借入金	874,518	837,005
未払法人税等	176,221	243,460
賞与引当金	274,026	135,257
その他	658,042	779,414
流動負債合計	8,833,467	11,698,512
固定負債		
長期借入金	2,284,679	2,085,575
長期未払金	66,850	66,850
退職給付に係る負債	1,004,890	1,017,847
資産除去債務	33,951	48,651
その他	96,153	229,443
固定負債合計	3,486,524	3,448,367
負債合計	12,319,992	15,146,880

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2026年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2026年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,863,610	1,863,610
資本剰余金	2,127,592	2,127,592
利益剰余金	8,291,564	8,287,361
自己株式	△103,948	△104,060
株主資本合計	12,178,819	12,174,504
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	532,050	940,047
為替換算調整勘定	31,240	32,765
退職給付に係る調整累計額	19,214	18,566
その他の包括利益累計額合計	582,505	991,379
純資産合計	12,761,325	13,165,883
負債純資産合計	25,081,317	28,312,763

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位: 千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2026年4月1日 至 2026年6月30日)
売上高	7,212,433	11,536,174
売上原価	6,382,241	10,078,990
売上総利益	830,192	1,457,183
販売費及び一般管理費	747,275	866,357
営業利益	82,917	590,825
営業外収益		
受取利息	777	7,614
受取配当金	9,759	10,584
仕入割引	808	1,467
その他	2,647	1,718
営業外収益合計	13,993	21,384
営業外費用		
支払利息	10,840	12,126
支払手数料	1,586	1,586
その他	704	1,262
営業外費用合計	13,131	14,975
経常利益	83,778	597,234
税金等調整前四半期純利益	83,778	597,234
法人税等	36,823	234,083
四半期純利益	46,955	363,150
親会社株主に帰属する四半期純利益	46,955	363,150

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2026年4月1日 至 2026年6月30日)
四半期純利益	46,955	363,150
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	62,960	407,997
為替換算調整勘定	△2,703	1,524
退職給付に係る調整額	△598	△647
その他の包括利益合計	59,657	408,873
四半期包括利益	106,613	772,024
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	106,613	772,024
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記)

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用する方法によっております。

なお、法人税等調整額は、法人税等を含めて表示しております。

(セグメント情報等の注記)

セグメント情報

Ⅰ 前第1四半期連結累計期間（自2025年4月1日 至2025年6月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	販売事業	受託製造事業	合計		
売上高					
外部顧客への売上高	6,138,703	1,073,730	7,212,433	—	7,212,433
セグメント間の内部売上高 又は振替高	100,675	397,636	498,312	△498,312	—
計	6,239,379	1,471,366	7,710,745	△498,312	7,212,433
セグメント利益又は損失(△)	△26,603	66,881	40,278	42,638	82,917

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額42,638千円は、各セグメントが負担する営業費用及び営業外収益の消去差異等であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

Ⅱ 当第1四半期連結累計期間（自2026年4月1日 至2026年6月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	販売事業	受託製造事業	合計		
売上高					
外部顧客への売上高	10,150,201	1,385,972	11,536,174	—	11,536,174
セグメント間の内部売上高 又は振替高	149,069	581,716	730,786	△730,786	—
計	10,299,271	1,967,689	12,266,960	△730,786	11,536,174
セグメント利益	368,307	179,022	547,330	43,495	590,825

(注) 1. セグメント利益の調整額43,495千円は、各セグメントが負担する営業費用及び営業外収益の消去差異等であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費（のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。）は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2026年4月1日 至 2026年6月30日)
減価償却費	96,084千円	97,568千円

3. 補足情報

受注実績

当第1四半期連結累計期間における受注実績は、次のとおりであります。

(単位：千円)

セグメントの名称	前連結会計年度	当第1四半期連結累計期間	
	受注残高	受注高	受注残高
販売事業	9,025,051	12,687,111	11,561,962
受託製造事業	276,275	1,497,558	387,860
合計	9,301,326	14,184,669	11,949,823

(注) 1. セグメント間取引については、相殺消去しております。

2. 上記金額は販売価格によっております。